

北連携型小中一貫校 学校運営協議会主催 『いじめ問題解決に向けた教育講演会』

11月27日(金) 19:00～20:30 in 藤岡北中学校体育館

演題 SNSいじめとコロナウイルス
～なぜ起こる?いじめ・差別・偏見～
講師 ぐんま子どもセーフネット 高橋 祐紀 様



11月27日(金)夜7時より、北中学校体育館で北連携型小中一貫校学校運営協議会主催による『いじめ問題解決に向けた教育講演会』を開催しました。

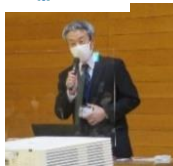
参加者は入り口で全員検温をするなど、コロナウイルス感染症予防対策を徹底する中、田中政文教育長様をはじめとした教育委員会、地域、保護者、学校職員等、およそ60名が参加して行われました。

講師としてぐんま子どもセーフネットの高橋祐紀氏をお迎えし、学校・社会の喫緊の課題であるSNSいじめとコロナ禍におけるいじめ・差別・偏見についてお話していただきました。

「SNS時代のいじめは流動化している。いじめの対象は次々に変わる。また、SNSに秘密はない。瞬時に拡散し、個人を特定することもできてしまう。このような状況の中で、正しい利用の仕方を家庭で話し合ったり、学校

高橋祐紀氏のプロフィール

- 1967年 藤岡市生まれ
- 2011年 群馬藤岡GFコーチングを設立 (個人事業)
- 2017年 藤岡市立北中学校PTA会長



現在の仕事、活動

- ・セミナー講師 (コミュニケーション、コーチング、自己啓発 PTAセミナー、商工会会員向けセミナー)
- ・職業訓練期間ポリテクセンター (群馬、長野) で外部講師 コーチング、アサーションなどを通じた良好なコミュニケーション作りの基本や部下育成に関する方法など講義している。
- ・ボランティア活動として NPO法人ぐんま子どもセーフネット活動委員会インストラクター 小中学校、生徒、保護者など対象に、ネットの危険やネットを使っていく上での注意することなどを伝えている。



【いじめ問題解決に向けた教育講演会の様子】

で望ましい人間関係を育んだりすること、アサーティブな、相手も自分も大切に社会を築いていけるよう、お互いがそれぞれ自分の気持ちを率直に表現しながら、よりよい関係をつくっていくこと」が大切だそうです。

さらに「子どもにとって、信頼できる大人 (何でも話せる人) が一人でもいるとどんな困難があっても乗り越えられる強い心がもてる」など、子どもと関わるそれぞれの立場で、とても参考になる内容でした。

北連携型小中一貫校の目標「あふれる知性」「豊かな心」「たくましい気力・体力」をもつ子どもたちを育成していくために、今後も学校・家庭・地域が協働していけますよう、よろしくお願いします。



◇ Hi! 「コミュ」と申します。 No. 2 ◇

私のこと、覚えてる? 「コミュニティ」から名前をつけたら「コミュ」です ♡ 前回のクイズも覚えてる? 「コミュニティ・スクール」って「地域社会と共にある学校」でした。じゃあ、藤岡市には「コミュニティ・スクール」ってあるか?

- ① 残念だけどない。
- ② うれしいことに、いくつ新しい学校ができています。
- ③ 実は5つある。

藤岡市の「コミュニティ・スクール」は小学校と中学校の9年間をつなげて考えてほしい。それでちょっと長くて、難しい名前なんだけど、この地域はなんて言うコミュニティ・スクールでしょ?

- ① 藤連携型小中一貫校コミュニティ・スクール
- ② 南連携型小中一貫校コミュニティ・スクール
- ③ 北連携型小中一貫校コミュニティ・スクール

正解はともに③ でした! 早口言葉で言えるかな?

— つづく

学校運営協議会に関する情報をこの「CS通信」を通してお知らせしていきます。ご質問等がございましたら、お気軽にご連絡ください。

※裏面もご覧ください

【問い合わせ先】 藤岡市立北中学校 広報部
☎ 22-1352 FAX 22-1353
E-mail kita-jhs@fujioka-school.gunma.jp

